



## 校長室から

### 探究の好循環

校長 市丸佐緒里

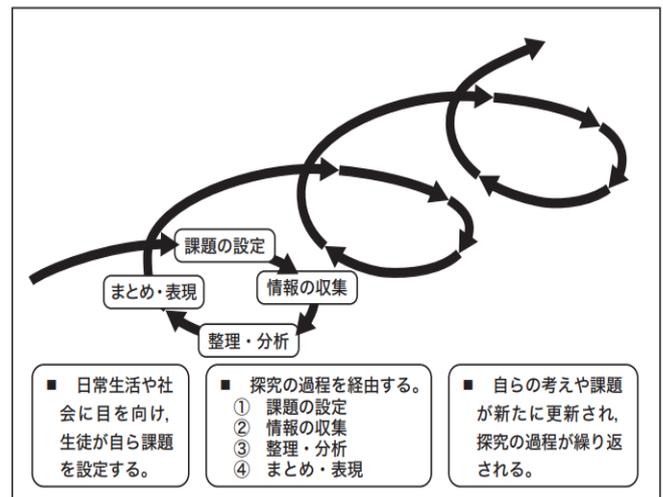
高校時代の授業でライフプランを考えたとき、厚生白書（昭和59年版）には、日本の平均寿命は男性74.2年、女性79.8年。「世界一の長寿国！人生80年時代！」と記されていました。ザクッとライフプランを立てると、教育（20年間）→仕事（40年間）→老後（20年間）とシンプルで描きやすい人生設計でした。プランの内容もクラス皆がほぼほぼ同じで普通。教科書等で示された一般的な例に、違和感も創造力もなく真似て描いた記憶があります。

さて現代は、ある海外の研究には、2007年に日本で生まれた子供（現在の17歳）の半数が107歳より長く生きると推計されており、多くの方が100歳まで生きる「人生100年時代！」が到来しました。長寿に社会の急速な変化も合わさって、現代のライフプランは教育→仕事→老後の期間や各ステージの内容も多様で複雑、示される普通の例はなく、自分らしさを見つけて自分で描く時代です。

高校は2022年学習指導要領の改訂により「総合的な探究の時間」が必修化されました。この教科書の目標は、自己の在り方や生き方を考え、よりよく課題を解決する資質・能力を育成することを目指しています。本校では、2・3年生で3単位、1年生「産業社会と人間」2単位（総合学科必修科目）を合わせて、系統的に体験活動等を計画し実践しています。探究活動は、自分の興味や関心を始動に、課題の設定、

情報収集、整理・分析、まとめ・表現というプロセスを経て、主体的に学ぶ活動を通して、知識を自分のものにしながら成長します。現代社会は絶えず進化し続けており、一度学んだことがすぐに古くなることもあります。人生100年時代を生きる皆さんには、知識やスキルを柔軟にアップデートする探究の好循環を知り、ぜひ実践してほしいと思います。アルベルト・アインシュタインは『学ぶとは、努力によってではなく、好きだからという探究心によって行うものである』と語っています。次年度、さらに平戸高校は、生徒ひとり一人の“好き”を系口に、教師が学びの伴奏者として関わり、生徒の皆さんが探究の魅力や学ぶ喜びを体感できる体制を強化します。平高で探究の好循環を味わってみませんか？

### 探究における生徒の学習の姿



## 総合学科発表会

2月7日(金)、第19回総合学科発表会を開催しました。吹奏楽部によるオープニング演奏で幕開けし、1年生は「産業社会と人間」、2年生、3年生は「総合的な探究の時間」で取り組んだ成果をステージ・展示形式にて発表しました。



## スーツセミナー

2月12日(水)、3学年を対象にはるやま佐世保北店佐藤様、北村様をお招きし、スーツ選びのポイントやネクタイの結び方、TPOに応じたスーツの着こなし方を学びました。



## 進路学習

～1年生ジョブガイダンス～

1月29日(水)、専門学校より職業別に体験授業を受け、職業理解を深めました。



～2年生県内企業見学会～

2月13日(木)、ジャパネットたかたとフタバ産業を訪問し、職業について知識を深めることができました。



～合格体験発表会～

2月12日(水)、3年生の就職者、進学者から就職活動や受験で苦労したこと、学んだことなど体験談とアドバイスを聞き、進路実現に向けた準備の大切さや意識を向上することができました。



## 3月の主な行事予定

- 1日(土) 第50回卒業証書授与式
- 3日(月) 3学期末考査(～5日)(1・2年)
- 6日(木) 第5回アントレプレナーシップワークショップ
- 12日(水) チャレンジ選抜
- 19日(水) 合格者登校日
- 24日(月) 修了式 離・退任式

